

ランチョンセミナーテーマ

構造化臨床知識コンテンツと チームコンパスを用いた 変革と定着

全入院患者へのパス適用によるチーム医療の良質化と病院マネジメント

共催：日本医療マネジメント学会第16回兵庫支部学術集会・株式会社イノシア



Image photo

会場

第5会場 1階 鳴尾東の間

日時

2024年2月17日
12:20～13:10

座長



兵庫県立西宮病院 院長

野口 眞三郎 氏

演者



東京大学 特任教授

水流 聡子 氏

抄録一部抜粋

現場の叡智であるベストプラクティスの可視化・構造化・標準化・デジタル化研究を通して得られた構造化臨床知識が組み込まれたプロセスパス (PCAPS: 患者状態適応型パスシステム) のデジタルコンテンツ群が、全入院患者に適用できるように整備された。それらはチームコンパスというアプリケーションに搭載され、多数の病院で実装されはじめている。(中略) 本セミナーでは、全入院患者へのデジタルパス適用の意義を、チーム医療の質向上と医療安全の推進の観点からひも解き、病院全体としての医療の質安全マネジメントのイノベーションについて考える。